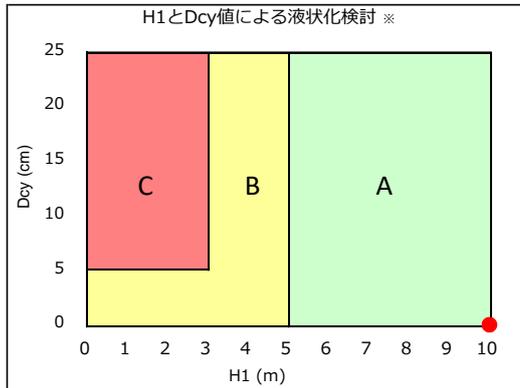


液状化被害の可能性判定

物件番号	A2021016125				
物件名称	野市中ノ村3号地 様邸				
測点番号	測点 2	高低差	TBM+0.17m	地下水位	無し

SWS・SDS試験データより、調査地の液状化に対する安全率（FL値）を算出し、地表変位量（Dcy値）と非液状化層（H1層）の厚さより液状化の可能性を判定します。



想定地震動	
マグニチュード (M)	7.5
最大加速度 (gal)	200

推定土質定数 ※		
土質	γ_t (kN/m ³)	FC (%)
粘性土	16	70
砂質土	18	20
礫質土	19	0

γ_t = 湿潤単位体積重量 FC = 細粒分含有率

計算結果			
非液状化層 H1層厚	10.00 m	地表変位量 Dcy値	0.00 cm

判定結果	H1層 (m)	Dcy値	液状化被害の可能性
A	H1 > 5	—	顕著な被害の可能性が低い
B	3 < H1 ≤ 5	—	顕著な被害の可能性が比較的低い
	H1 ≤ 3	< 5	
C	H1 ≤ 3	≥ 5	顕著な被害の可能性が高い
その他			

深度	土質	Wsw	Nsw	γ_t	Fc	FL値	Dcy値
0.25	砂質土	1.00	12	18	20		
0.50	砂質土	1.00	12	18	20		
0.75	砂質土	1.00	12	18	20		
1.00	砂質土	1.00	16	18	20		
1.25	粘性土	1.00	8	16	70		
1.50	粘性土	1.00	12	16	70		
1.75	砂質土	1.00	112	18	20		
2.00	砂質土	1.00	384	18	20		
2.25	砂質土	1.00	2750	18	20		
2.50							
2.75							
3.00							
3.25							
3.50							
3.75							
4.00							
4.25							
4.50							
4.75							
5.00							
5.25							
5.50							
5.75							
6.00							
6.25							
6.50							
6.75							
7.00							
7.25							
7.50							
7.75							
8.00							
8.25							
8.50							
8.75							
9.00							
9.25							
9.50							
9.75							
10.00							



※Fc ≥ 50%の地層については非液状化層として検討対象外としています。

※液状化判定法は「宅地の液状化被害可能性判定に係る技術指針」(国土交通省都市局)を参考とし、土質定数は各土質における一般的な値を採用しています。

※地下水位の位置は、実際の計測値または「住宅を作るための「住宅基礎の地盤」がわかる本」に記載の地下水位の代表値から決定しております。